



発行所 警城日日新聞社 小名浜町高木長年 電話 147番

小名浜町民に告ぐ

縣會議員 大井川正己



大井川縣議

私は小名浜に生を受けて人生最大の名譽と希望と幸福を感じてゐる。それはわが郷土小名浜を日本的小名浜たらしめると同時に國際都市小名浜港の建設を企圖してゐるからである。

今より二十数年前の警城中校の中等青年講習會で當時の平野市長の訓示の中に昔小名浜千軒八百と謂われ、平は一寒村に過ぎなかつたが、日本鐵道より常磐線、磐越東線が延長し、交通機關の發展に依り平市は急速に發展した。

一方小名浜は昔より海陸物資の集散地として親船が出入し、湯本よりは馬車レールに依つて石炭其の他の物資が積出され、浜通り唯一の都として、賑を極めたのである。古今東西を通じて、産業、文化の發展の要素は交通機關に左右される事、雄辯に物語つてゐる。しかも小名浜臨海鐵道は創業拾週年を經過して、長足の進歩發展をなしてゐるが更に日本水産化學工場と併行して大規模の躍進も約束され、小名浜市建設も約束されたが、私は二十歳の青年時代より小名浜町民一人として働きかけたいのである。希望と幸福を痛感するものである。

小名浜は昔より海陸交通の重要地点として地の利、天の利の自然環境にある。事を忘れてならないと思ふ。大小小名浜建設當面の課題は種々あると思ふが第一の條件は自然の恩恵であり、第二の條件は人の和であり、第三は自主的町民の熱意と政治力の結集である。一例を申せば、港、埠頭、兩會社の對立がそれである。

爾來フアッシュの派手な主義と封建的思想の根柢も漸次町民の自覺と時代の潮流に依り民主主義の切替行く姿に竿頭一步の建設的苦樂合一を推進すべきである。

第三の政治力展開は町民共同の責任を追求すべきである。

小名浜の避難港としての充實、三崎地内八千坪のそれへの施策をねんじらした。

ハ、企業化の強化
企業委員に有能の民間人も加へ行政助役に課長を兼ねさせ各部門よりの提案の検討、調整、立案等、町政振興の根本企業とする。

ニ、町政當面の開始
舊町内會或は行政區毎に常會を開き理事者及議員區長等出席して町政の理解徹底を図ると共に直接民意をきく機会としたい。

②文教關係
イ、幼稚園或は保育所の設置

小名浜町民の聲

本社では今春行われる町會議員の選挙に對する町民の意向を打診するため次のような課題で在町の各層に對し質問していただく多様な回答があつたので、紙上に公開することにした。

① 町政運営に對する希望
將來の町政に如何なる人物を望むか
小名浜の發展策について

② 小名浜町小學校長 高木長年
一、町政運営に對する希望
見
① 役場機關關係
イ、助役一名をおき一は政務助役一は事務助役

③ 町政運営に對する希望
として町政運率の増進を期しようとするにしたい。専門委員會の設置、現に持たれてゐる委員會の外に教育、土木、物業の三委員會を組織し委員には議員、専門家、學識経験者をあげ

④ 町政運営に對する希望
として町政運率の増進を期しようとするにしたい。専門委員會の設置、現に持たれてゐる委員會の外に教育、土木、物業の三委員會を組織し委員には議員、専門家、學識経験者をあげ

大いに自重しよう

日本水素社長 莊野精二郎

一九五〇年は吾々の業界から見れば五年も七年もの變化のあつた年で「統制經濟から自由經濟へのコース」を迎へるため年間の統制一本槍から新しい形体の自由經濟に移行するための鍛練期であつた。

そこで本年はその仕上げをする年であると思つて、最近の國際情勢は社会的にも大問題を惹起してゐる。

朝鮮の動亂が容易に終へず、その動向もまた端けいすべらざるものがある。トルーマン大統領も今後の見通しにつき慎重を期してゐることだ。

かかる微妙な歳に當つて私は過去数年間耐乏した統制時代のような、ひき締つた時代にも適もどきするといふ事ではなく、總ての点において、官僚制を排すると共に民主國家日本の体制を整えて、大いに自重しなければならぬと思ふ。

漁業の發展確立

湯本町會議員 庄司濱吉

湯本消防常任委員長 湯本魚市場場長

五〇年を迫る時、なせか我々個人の爲に於て、ひとりの衣食住の飢餓と虚無的社會の混亂に泣き崩れた事を忘れられない。戦後温床の中に育てられて来た我々は地方民主化、經濟、税の實體を明けて、今秋遂に一九五〇年の達成を期す。

湯本町の發展確立に研究し漁業の發展策を確立しなければならぬ。どうか幾多の辛苦にも願する事なく、平和的文化國家を建設して明るく住み良い人生を迎えられたいと共に皆様の御活躍を心からお祈りしたい。

小名浜町民の聲

附 學校關係については後日につづることとする。

① 兒童福祉及厚生關係
小動物園、運動用具等を完備して健全な娯樂場たらしめたい。

② 青少年補導施設(假稱愛育會)
兩親を失ひ或は家族の複雑な事情から轉々と所をかへてゐる哀れな者が多い、これらの青少年を收容して愛育してやりたい。

③ 青少年不良化は社會自身の問題である(續く)

謹賀新年

鹿島村農協同組合 組長 荒川恒義

鹿島村消防團 團長 新妻一郎
副團長 鯨岡善孝
第一分團長 坂本一二
第二分團長 四家義正

小名浜旅館組合 名杏會

作山工務所 作山安太郎 電一九

近藤助産所 親切第一、入院隨時 助産婦 近藤かみ 同 水野フク 同 芳賀千代

社會黨小名浜支部長 社會黨鹿島村支部長 革新民主同盟委員長 小野幸次郎

おめでとす 御座います

小瀧旅館 電103

クヌリは たからや藥局 電二〇四

大屋デパート 電五六一

東北配電株式會社 小名浜營業所 主任 安田久藏

小名濱造船所 社長 葉谷寅之助 電一九五

内田建設株式會社 社長 内田清吉 電四六八

有限 常磐土建工業社 電五四五

倉兼常八 電一七六

丸八鐵工所 電一七六

斯界に誇るクロロバ印

黄金時代の日本水素

わが国の人口八千万の過半数を占める農民は集約農業を行つてゐるため多量の肥料を必要とする。なかんずく窒素、燐酸、加里は三大肥料として早くから人口に輸入してゐる。特に窒素肥料は人工補充の七、八割を占めてゐる。この外石灰を加えて肥料の四大要素ともいふ。わが国の食糧事情は、衆知のように戦前は朝鮮、台湾より多量の輸入をまけて充足して来たが、戦後は米国の援助によつて辛うじて補給してゐる状態であるから速かにオクタキー(自給自足)を理想とし食糧の増産を期する必要がある。肥料の増産計画もまた國家の重点産業として資金費材面に特別の援助を與へてゐる。

これがため肥料工業は目ざましく復興し昭和二十三年には化学肥料の産額は戦前に略々近くなつてゐる。硫酸は戦前の需要約百トンは、戦後は約二百トンの増産を期してゐる。これは約三十万トンの硫酸生産が必要である。硫酸は水を電氣分解して水素をとり、硫酸にする。電氣分解法とソーダ法とをとり硫酸にする。ソーダ法とがある。昭和十七年度計画の生産目標は百六十万トンである。これが達成されれば輸入がなくても反當り、八割の供給が可能となる。日本水素はソーダ法会社として宇部興産、三菱化成、東洋高麗、東北肥料、別府化学の六大会社中、指の会社で硫酸の月産六五〇〇七五〇〇トンと概算されクロロバ印は世界市場でも好評を博してゐる。同社の總經理野村二郎社長は元公使近衛文麿さんタイプで温厚篤實な人格として一千数百の社員は勿論一般市民からも尊敬されてゐる。

あの町この村

NO.1物語

【将棋】 某 天狗
将棋界には自認する者が他認はせぬ第一人者が数人ある。
その馬場庄次氏、ギスケの定さん事柄内定吉氏、麻雀は実力七分に運三分と言ふだけに将棋以上にしてこんな東北の出舎町に、中學校の教師となつてゐるか、それは生徒達の問う所ではなかつた。ただ彼の、経済講義の名調子が、生徒の間に絶大な人気を博してゐるのである。彼は生來の吃である。彼の吃をカバリーする爲に、彼がみ出した悲しき努力が、いわゆる名調子なのである。「われつら思ふに、経済学の原則は、懸河の辯をふるう、生徒達はやんやと喝采をおく。彼の愛稱はク吃又ク

小説 雲の彼方に

伊奈川 銀

序章 一
「先生、やっぱり變だなあ先生の話を。今日の告別式だつておかしかつたなあ。」
「うん、そうだ。おかしかつた。逢い見し者は別れぬばならない。形ある物は必ず破れる。これが浮世のことわりながら、なつて、だからみんなわいちゃつたんだ。」
浩介と昌吉の言葉に、あとの三人の少年は、あは

【さき味噌】

本町 佐藤政治氏

年末年始にかけ町に氾濫する御酒を銘柄を見ずじつと見極める達人として町議佐藤政治さんを紹介する。毎年税務署で行われる利味酒競技には最優秀者の折紙を付けた七、群衆等は味は勿論、酒の含有量まで明瞭に言い当てる舌の良さを、佐藤さんに出す酒は變な混じりものは禁物です。

【大金庫】

七十七銀行小浜支店

薄給サラリーマンの財布には月に一度、千円札がヒラ〜と舞い込んで行く。一日二千圓の札束、千円札で二万枚を呑む。大金庫が七十七銀行の事務室の奥に構えてゐる。横幅は二米、高さ三米、奥行き四米で、大男五十人が入れる。此の金庫には仙台へ毎週運送される現金が〇〇〇〇〇〇円常に積上げられてゐる。それが變な氣を起さぬ様に?

【サラリーマン王國】

日本水素KK

日本再建經濟復興の基礎産業として硫酸、燐酸、メタノール等、生産東北一の誇りでもある。従業員千四百五十名、ヶ月平均賃金二萬圓、年二回、定期賞與に、臨時手当、その上あらゆる

【今日天気】

北西の風一時や強く吹きますがまた曇ることもあつて、今日

【魚菜市況】

甘藷 二五〇〇円
人参 二八〇〇円
里芋 三五〇〇円
牛蒡 四五〇〇円
馬鈴薯 一〇〇〇円
干芋 一〇〇〇円
干大豆 一〇〇〇円
干小豆 一〇〇〇円
干胡豆 一〇〇〇円
干大豆 一〇〇〇円
干小豆 一〇〇〇円
干胡豆 一〇〇〇円

【歌留多】

中島 宮下 茂氏

昭和六、七年頃が同氏の全盛期が、いばらぎ新聞社主催の關東北歌留多大會湯本青年團第三回大會外大小競技會に参加二十數回優勝し、郡下は勿論、県下も一、二の名手であつたが、近頃練習不足で昔の様に腕がさえないと言われるが、小浜濱町では勿論第一人者である事に變りはない。最近石井病院の先生外数名の同好の志が集まり千鳥會を結成して趣味の深い御座競技技として、正式なルール普及と振興を計畫して居られるそうである。

【サライマン王國】

日本水素KK

日本再建經濟復興の基礎産業として硫酸、燐酸、メタノール等、生産東北一の誇りでもある。従業員千四百五十名、ヶ月平均賃金二萬圓、年二回、定期賞與に、臨時手当、その上あらゆる

前を通れば直ちに鳴り出す赤外線使用オートランダム自動警報器が設置された獨立シームス式の三重錠前が、ありてちよつと半米でも手に負へぬ品物である。それだから

【魚菜市況】

甘藷 二五〇〇円
人参 二八〇〇円
里芋 三五〇〇円
牛蒡 四五〇〇円
馬鈴薯 一〇〇〇円
干芋 一〇〇〇円
干大豆 一〇〇〇円
干小豆 一〇〇〇円
干胡豆 一〇〇〇円

【今日天気】

北西の風一時や強く吹きますがまた曇ることもあつて、今日

【歌留多】

中島 宮下 茂氏

昭和六、七年頃が同氏の全盛期が、いばらぎ新聞社主催の關東北歌留多大會湯本青年團第三回大會外大小競技會に参加二十數回優勝し、郡下は勿論、県下も一、二の名手であつたが、近頃練習不足で昔の様に腕がさえないと言われるが、小浜濱町では勿論第一人者である事に變りはない。最近石井病院の先生外数名の同好の志が集まり千鳥會を結成して趣味の深い御座競技技として、正式なルール普及と振興を計畫して居られるそうである。

【サライマン王國】

日本水素KK

日本再建經濟復興の基礎産業として硫酸、燐酸、メタノール等、生産東北一の誇りでもある。従業員千四百五十名、ヶ月平均賃金二萬圓、年二回、定期賞與に、臨時手当、その上あらゆる

【今日天気】

北西の風一時や強く吹きますがまた曇ることもあつて、今日

【魚菜市況】

甘藷 二五〇〇円
人参 二八〇〇円
里芋 三五〇〇円
牛蒡 四五〇〇円
馬鈴薯 一〇〇〇円
干芋 一〇〇〇円
干大豆 一〇〇〇円
干小豆 一〇〇〇円
干胡豆 一〇〇〇円

【歌留多】

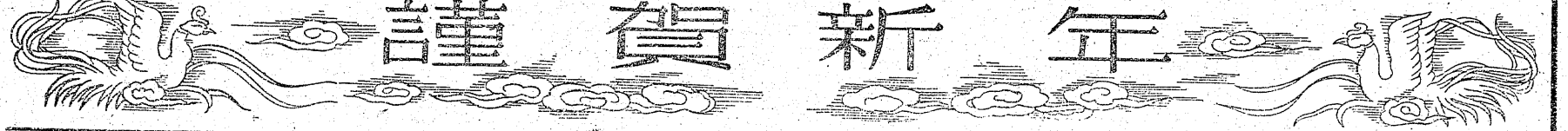
中島 宮下 茂氏

昭和六、七年頃が同氏の全盛期が、いばらぎ新聞社主催の關東北歌留多大會湯本青年團第三回大會外大小競技會に参加二十數回優勝し、郡下は勿論、県下も一、二の名手であつたが、近頃練習不足で昔の様に腕がさえないと言われるが、小浜濱町では勿論第一人者である事に變りはない。最近石井病院の先生外数名の同好の志が集まり千鳥會を結成して趣味の深い御座競技技として、正式なルール普及と振興を計畫して居られるそうである。

【サライマン王國】

日本水素KK

日本再建經濟復興の基礎産業として硫酸、燐酸、メタノール等、生産東北一の誇りでもある。従業員千四百五十名、ヶ月平均賃金二萬圓、年二回、定期賞與に、臨時手当、その上あらゆる



千代田重機株式会社	下駄は
小名濱事業所 小名濱町中島 電四八八	大菱商店 小名濱町中島 電四二一
船具漁具一式	文房具雜貨
福島船用品株式会社 小名濱町古港 電四六六	叶屋商店 小名濱町本町
鈴木鐵工所 小名濱町中島 電三五三	染物は
漁具計量器	善六染物店 小名濱町西町 電一三三
小林船具店 小名濱町古港 電三七五	醤油・味噌
海産加工工業	丹清治 小名濱町古港 電三三三
松田屋 小名濱町中島 電四二二	銘酒の店
木炭	由良の助酒店 小名濱町金星座通り
木村屋木炭店 小名濱町中島 電一六二	酒は
衣料	星酒店 小名濱町下町 電二九〇
洋品	トケイは
運動靴	内山時計店 小名濱町中島 電一七三
洋品化粧品	ハキモノは
ふくや洋品店 小名濱町橋本 電四二〇	野島履物店 小名濱町古港 三九
最新流行靴	良い茶は
齋藤靴店 小名濱町上町 電四三三	高木園茶舗 小名濱町本町